

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	本社ビル改築工事	階数	地上5F
建設地	兵庫県姫路市夢前町前之庄1372-2	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2025年4月1日
敷地面積	2,950㎡	作成者	小西 龍機
建築面積	557㎡	確認日	2025年4月1日
延床面積	2,564㎡	確認者	小西 龍機



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	83%
③上記+②以外の	83%
④上記+	83%

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 省エネ器具の採用により、二酸化炭素排出の低減に努めている。	その他 特に無し。	
Q1 室内環境 建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆を採用している。	Q2 サービス性能 階高、空間のゆとりを持ち更新性を高めるとともに、耐用年数の長い配管材料を採用することで建物の耐用性向上に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 特に無し。
LR1 エネルギー LED照明器具を採用し、省エネルギー化に努めている。	LR2 資源・マテリアル 節水型器具や再利用性の高い材料の採用により資源の保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用せず、外部空間に対して大気汚染物質を発生しないように配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される